

# 広報



# あ ま 海 士

平成17年

# 9

No. 394

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場  
 TEL (08514) 2-0111  
 ◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)  
 Eメール: info@town.ama.shimane.jp



「海士だいすき！」タイ・韓国の留学生と深まる交流

キンニャモニャ祭り最高!



ステージを支える地万さん。若手も頑張りました。



澄田知事来町



菱浦(鏡浦)からの水中花火は幻想的な夜景を醸し出しました。

### 町の人口世帯数

総人口 2,520人 (+5)  
 男 1,191人 (-1)  
 女 1,329人 (+6)  
 世帯数 1,094世帯(+1)  
 住民基本台帳(8月末現在)  
 ( )内は6月末との比較

## \*\*町の一大会 キンニャモニャ祭り開催!\*\* ~海士の元気の源はこれだ~

全国にキンニャモニャ祭りを発信し続け、今年で10回目を迎えました。職場、友人、地区別、学校からの参加はさることながら、町外から20団体の参加があり、総勢1200人が、しゃもじ両手に勇壮なパレードを繰り広げました。夜には、菱浦湾での水中花火や夜空を彩る2300発の大輪の花火で賑わいました。また来年も、この祭りですらなる交流の輪が広がることを期待しています。  
 (関連記事P2)

### 主な内容

- 第10回キンニャモニャ祭り他… 2~3
- 2005夏交流の輪首都圏へ… 4~7
- 元気な集落事業… 8~9
- 町の話… 10~11
- 議会だより… 12~13
- 教育だより他… 14~17
- お知らせ… 18~23
- 戸籍の窓… 24

# 第10回 海士町キンニャモニャ祭り

## 地域の文化と交流 そして世界へ広がるキンニャモニャ

### しゃもじと汗と笑顔のまつい



タイの民族衣装を付けて郷土芸能を披露する留学生たち



気合いOK!腰を入れて... キクラゲチャカボンもてこいよあ〜。

恒例となった海士町キンニャモニャ祭りが、10回目を迎え、8月27日に盛大に催されました。

今年は、菱浦港「承久海道キンニャモニャセンター」周辺を会場に、たくさん  
の屋台村が立ち並んだり、特設ステージで、地域芸能交流が行われるなど人の行  
き交う賑やかな祭りとなりました。

この地域芸能交流には、全国から10団体と新宿日本語学校の留学生(タイ)(韓  
国)9名が参加し、ご当地の代表的な民謡や国際色溢れる踊りが披露され、10回  
目の祭りにふさわしく一段と活気づいた一日でした。

この日は、気温30度を超す暑さにもかかわらず、演じる人、スタッフの人、出  
店のボランティアの方々等、皆、額に汗しながら祭りを盛り上げました。

また、この祭りに第1回目から連続10回出場をされた4人の方々にキンニャモ  
ニャ祭り実行委員会より感謝状と記念品が贈られました。そして、夕方6時から  
は祭りのハイライト「キンニャモニャパレード」が始まり、町内の自治会や職場  
グループから22団体、また、町外から20団体総勢1200人が趣向を凝らした衣  
装で参加。湾岸一帯しゃもじの音が響きわたりました。



海士出身の歌姫「国村千鳥さん」今年もい  
い声を聴かせて下さいました。



気温30度を超す炎天下にもかかわらず、たく  
さんの観客の方々でうめつくされました。



今回の祭りで記念ヨットレース(境港~菱浦  
間)があり、優勝した「ひみこ」のみなさん  
に表彰状と記念品そして缶メダルが渡されま  
した。

# 岡山県

## 井原市児童交流事業

### 後鳥羽んさんゆかりの地へ井原市訪問



岡山県指定  
重要文化財  
十文字寺遺跡  
土曜寺遺跡  
土曜寺遺跡  
土曜寺遺跡  
土曜寺遺跡

8月6日から2泊3日の日程で、海士町の小学5、6年生17名が岡山県井原市を訪問し県主（あがたぬし）小学校の児童たちと交流しました。

井原市との交流は、平成5

年、「鳥羽踊り保存会」の皆さんが隠岐神社に「鳥羽踊り」を奉納したことになりました。

県主では、承久の変に敗れた上皇が、井原市門田町の金剛福寺に逃れ、お亡くなりになったと言

われています。寺の近くに五輪の塔を建て「鳥羽の陵」と名づけ、上皇の御霊をなぐさめた供養の踊りを今日に伝えたものが、『鳥羽踊り』とされています。



笑顔いっぱいに出迎えてくれた県主のお友達

「8月6日」  
朝のレインボーで出発し、境港から井原市までは、バスで約4時間、金剛福寺を参拝しご住職から後鳥羽上皇伝説の説明を受けました。その後、老人福祉センターに移動して、県主小学校の4年生から6年生21名と対面し、夜の井原夏祭りの踊りの練習を一緒に行いました。

井原夏祭りでは、会場に到着すると、にわか雨にあい開始時間が30分程遅れるハプニングもありましたが、『海士町児童交流連』のプラカード、「隠岐海士町」と書かれた大きなしゃもじを先頭に、子どもたちは両手にしゃもじを持ってキンニヤモニヤ

風の独特の踊りを披露することが出来ました。宿泊場所の青少年研修センターでは、双方の子どもたちが4人1組で泊まりましたが、消灯後もおしゃべりが弾み、なかなか寝付けない夜だったようです。

「8月7日」  
朝6時起床、地元のお年寄りと一緒にラジオ体操で気持ちのよい汗を流しました。この日は、井原市生まれで明治、大正、昭和の3代に渡って活躍した彫刻家「平櫛田中」の作品を展示した田中美術館を見学し、瀬戸大橋、倉敷チボリ公園観光。チボリ公園では、フリーバスのチケットで時間いっぱい沢山の乗り物などを楽しみました。夜には、国内最大級の反射望遠鏡のある美星天文台で木星や金星などの天体観測を行い、はじめて宇宙を覗く子どもたちの目は星のように輝いていたのが印象的でした。美星町では、美しい星空を守るため全国に先駆けて光害防止条例を制定したそうです。



しゃもじを両手にキンニヤモニヤ風の踊りを披露しました

「8月8日」  
県主小学校の児童や鳥羽踊り保存会の方々に境港まで見送りに来て頂き、紙テープで見送られました。海上の子どもたちも初めての体験に大変感動していました。

今回の訪問では井原市の皆様のおもてなし、お心遣いに感銘し、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちの心にも沢山の思い出が残る有意義な旅となったことでしょう。

後鳥羽上皇のおかげで始まったこの児童交流がますます深まっていくことを願っています。来年は、県主の皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

（人間力推進プロジェクト）

# 2005夏 交流の輪が首都圏へ、そして世界へ！



## 人、自然歴史文化…海士には魅力が一杯、 海士町の動きに各方面から注目が！

国立市民、大学関係者等で満員となった会場で海士町の紹介。中学生にとって、自分にも海士町にも大きな自信と誇りが生まれたことでしょう。



国立市長の歓迎挨拶の様子



6月23日  
海士中学校2年生修学旅行  
で、国立市へ行く。

「東京への修学旅行」。今年例年とは違ったプログラムが含まれていました。『外部との交流を通じて自分たちの町を見直す。』そんな目的のもと、文教と福祉の先進都市である東京国立市との縁がつながりました。



「地域開発」という雑誌にも、この取り組みが紹介されました。生徒たちの頑張りが伝わってきます。←

生徒たちの「講義」は、一生懸命で会場の人たちは海士町を応援しようという気持ちになったと思う。そして何より、生徒たち自身が自分の住む町の素晴らしさを再認識できたのではないかと思われる。この日のために随分準備をしたと感じられたが、会場からの質問は予想されたものばかりではなかったようで、生徒たちが答えに窮する場面もいくつか見られた。人に聞かれるものごとがよく見えてきたり、今までに気づかなかつたことに気がついたりするものだ。質問を受けてさらに町への想いを深め、それぞれの心に大切にすべきことが残ったのではないだろうか。今回の体験が彼らに「夢と希望」を与え、もっと町をよくしたいという気持ちが育って、将来の海士町を担う人になってくれることを期待したい。

講義に参加した大学生からもメールが届きました。

「先日は遠い一橋大学まで暑い中お越し下さって本当にありがとうございます。」

(中略)

感激したことは数多くありましたが、その中でも、特に素晴らしいかったのは海士町の方々の熱意です。しっかりとした事前の準備とプレゼン、中学生や海士町の方々純粹さ、明るさ、その全てが私にとって新鮮でした。人と付き合うということ、もてなすということの「原点」を省みた気が致します。これらは、海士町の方々にはしかない特別なものであると感じました。それが私には嬉しくて涙が出そうになりました。(中略)

そしてこの気持ちを次へ繋げていくためには、今度はこちらが海士町へ直接訪れる必要があります。そこで実際に海士町の空気や熱を肌で感じながら交流することが出来ればと期待しています。私にとっての交流は今始まったばかりです。夏休みに一度、希望者を募って訪問させて頂ければと思います。本当に、本当に、有難うございました。ではまた必ず、お会いしましょう！」

8月7日～9日  
一橋大学学生8名が、実際の海士を見に訪れました。

そして、夏休み。本当に彼らはやってきました。

海士中学校の生徒との再会、真夏の海士を満喫、海士の町興しを視察・・・充実した数日となったようでした。

日本海に浮かぶ本当に小さな島。修学旅行で中学生が大学に行くまで、若者たちは海士町の存在さえ知らなかったことでしょう。しかし、2005夏の交流で、若者たちは海士町の強力な応援団になってくれたのではないのでしょうか。若者のエネルギーで、交流の輪がこれからも続き、深められ、海士町にパワーをもたらすことを、学生たちの姿勢から強く感じました。



一橋大学の学生は、海士を直に見て、何を感じたのでしょうか。



歓迎パーティー 留学生を囲んで、海士のホストファミリー、学校関係者、国立市で海士中学校のホームステイを受け入れて下さった4名の国立市の方も参加して賑やかな歓迎パーティーが開かれました。

中国、台湾、タイ、アメリカ、スイス、オーストラリア、ルーマニア、インドネシア：…何と十二カ国の人たちが。こんなに多くの国籍を持つ人々が一度に海士町に集まったことがかつてあったでしょうか？

短期間の滞在ではありましたが、海士町の歴史や文化を学び、自然を満喫し、中学生との交流事業や、ホームステイ等を通して海士町の人情に触れ、東京とは違う日本を感じることができた海士町体験旅行になったことでしょう。



神楽体験 「神楽って何？」百聞は一見に如かず！



塩づくり体験

パーティーのフィナーレはやっぱりキンニャモニャ



一橋大学横田教授

海士町と国立市、一橋大学とのつながりは、今年始まったばかりですが、ゼミの学生たちや、留学生、海士中の生徒達といった若者の力と、それを支える国立市民や海士町民、一橋大学や海士中学校の先生方の力で交流の輪が、一歩一歩確実に広がり、強まっていると感じることができました。来年の修学旅行では、また、新しい出会いと発見が期待できそうです。



早朝から大敷体験

明屋海岸で海水浴 今年修学旅行で一橋大学に行った中学2年生、来年修学旅行に行く予定の中学1年生と一緒に交流。来年への一歩となりました。

# 7月2日~11日 **AMAにフランス人がやってきた!** **新宿日本語学校サマースクール開校**

フランスから7名のフランス人が来町し、海士中学校地域交流スペースで日本語の勉強をしました。午後は、小中学生との交流事業も行われました。

また、新宿日本語学校理事長江副隆愛氏の娘さんとお孫さんのシンシアちゃん、ジェフリー君もアメリカから同行し、1週間、福井小学校に通いました。

外国人と触れ合う機会が少ない海士町ですが、子どもたちにとって自然体の国際交流になったようです。フランス旋風が爽やかに吹いていった10日間でした。

今回の最大の目的である、新宿日本語学校の日本語授業に加え、地元の小中学生との交流、余暇活動の中では、「隠岐の自然、歴史、伝統文化」に触れ、ホームステイでは、日本の家庭生活を体験し、人情豊かな海士町民と触れあい、10日間があったという間に過ぎていきました。正しい日本語を、日本語がわからない外国人に指導する技と、10日間の滞在の中で、めざましく日本語が上達していく彼らの姿に驚くばかり。また、日本文化に対し強い興味を示し、歴史文化巡りで熱心に学ぼうとする姿にも驚かされました。伝えるべき歴史を持つこの海士町に対し、改めて誇りが沸いてきました。日本文化にも強い興味を抱き、神楽見学や宇受賀命神社大祭への参加は、彼らに大きな感動を与え、感動している彼らの姿から、歴史や文化を次世代へ伝えていくことの重要性を学びました。

格好いいフランス人は、外見だけでない、中身も本当に素敵な人たちでした。また来たい、ここにいたいと、うれしくなる言葉を残し、涙の別れとなりました。



← わずかな期間に、日本語だけでなく、三味線もマスター!

神楽、三味線、お祭り、剣道、空手などなど、親日派の彼らには、わくわくするほど魅力的なものが一杯だったようです。

たどたどしい日本語で語った「こんないい子どもたちは見たことがない。」素直な海士の子どもたちが、海士の魅力を更に高めてくれたようです。

ホストファミリーの皆さんお世話になりました。ホームステイは楽しい体験ができ、勉強にもなります。今後も多くの方のご協力をお願い致します。

この夏、3回の外国人ホームステイの機会があり、多くのホストファミリーの皆さんに愛情一杯のおもてなしをして頂きました。ご協力有り難うございました。春に転入後、3回のホームステイにご協力頂いた山根さんご夫妻をご紹介します。

私たち夫婦と愛犬ベコは昨年の4月、兵庫県加古川市から豊田の三吉屋(旧橋本邸)に引っ越してきました。三吉屋は妻の実家であると同時に、私の母の実家(養女)でもあります。私たちは1967年の夏、この三吉屋に遊びに来て偶然知り合い結婚しました。それから37年後この三吉屋に住むようになるとは、真に感無量であります。

隠岐では皆様方に変えて親切にしてください、本当に感謝しております。海士町に少しでも貢献できればと思います、ホームステイを引き受けました。語学力の維持と言う目的もありましたが、ビジネス上ではあまり経験できなかった人の情に触れるようなお付き合いができ、感激しています。海外の若い人達が生涯忘れる事のできないような隠岐での良い思い出を沢山持つて帰れるような微力ながら努力したいと思っております。私達夫婦とベコ共々この素晴らしい海士町発展のために努力したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



山根さんご夫妻  
 完成間近なウッドデッキで、タイ人留学生ウィパウィー ジャムパーさんと

# 8月25日～29日 新宿日本語学校 留学生来町！

## 今度は笑顔が素敵な 韓国人1名とタイ人8名

昨年から始まった、新宿日

本語学校留学生の海士町体験旅行。今年は、文部科学省の学習奨励金で日本に留学している韓国人学生1名と、タイの国費留学生8名の計9名が海士町にやってきました、

キンニャモニャ祭りでは、郷土芸能交流会で韓国の学生が「冬ソナ」のテーマソングを韓国語で熱唱、タイの学生8名は、それぞれの地域の郷土芸能を組み合わせて披露してくれました。タイから持参していた本格的な衣装を身につけ、少しでも海士の人たちに喜んで欲しいという気持ち一杯の舞台でした。終了後には、初めて見るタイの郷土芸能の豪華な衣装と彼らの笑顔が会場の人たちにも大人気を。記念撮影を希望する人が後を絶たず、時間をかけて準備

した甲斐がありました。

楽しかったキンニャモニャパレード  
しっかりマスターし、  
楽しく踊りました。



ホームステイでも、素直で純朴な学生達は、かわいがってもらい、ホストファミリーを「お父さん」「お母さん」と呼び、昨年の秋に離れた故郷に帰ったような気分を味わったようです。

フェリーでのお別れは、学生もホストファミリーも涙々の感動的なものとなりました。殆どが19歳、20歳というメンバーで、日本語を勉強し、今年日本の大学受験を目標として、日々頑張っている学生にとって、本当に夢のような日々だったことでしょう。礼儀や、素直さ、感謝の心、そして、国や親を思う気持ち等、高度成長の中で日本人が徐々に失ってきた大切なものを今でもたくさん持っている若者達でした。

### ← タイの郷土芸能の準備風景

男の子が、女の子の髪型のセットや、化粧をしているのにびっくり！薬剤師を目指している学生さん、美容師にもなれそうな見事な手つきでした。準備に時間がかかってしまい、キンニャモニャ祭りのスタッフの方にご心配をおかけしました。温かな目で見守って下さって有り難うございました。



見事な郷土芸能披露でした。  
日本、韓国、タイの国旗も準備し、国際色豊かな郷土芸能交流会となりました。

唱歌「ふるさと」を合唱  
帰る日の朝、来てから覚えた「ふるさと」の歌詞を、忘れないようにメモし歌い始めました。交流センター管理人の湯本さんがハーモニカで伴奏をして下さって合唱に！



送る方も送られる方も  
涙々のお別れの儀式  
でした。



年度当初から様々な交流事業が繰り広げられ、初めてのことで、相手先との調整や、受け入れ側の調整で慌ただしく過ぎていきました。地域の学校やホストファミリーの方々、その他多くの町民の皆様のご協力で、非常に有意義な交流事業となりました。改めてお礼を申し上げます。

「海士町は素晴らしい！」と訪れた人たちは絶賛してくれました。比較的いい季節に訪れ、海士が持つ体験プログラムの凝縮して提供するので、当然のことかもしれません。しかし、彼らを感じた海士の良さは、提供したプログラムだけでなく、木造の小学校や、緑の水田に囲まれた宇受賀命神社等、都会では見なかった景観や、子どもたちのはにかむ笑顔、無邪気な笑顔、困っている時さりげなく声をかけてくれた中学生の優しさ、直接関わりがなくても温かな眼差しで迎えてくれる町の人々の表情。遠く離れた家族のように接してくれたホストファミリー。準備したプログラム+αの魅力が大きかったのかもしれない。そんな海士の良さを失わないよう子ども達に引き継ぎ、高めていくことも大切なことだと感じました。

交流事業による出会いは、町づくりにとっても意義深く、今後もさらに発展させていきたいものです。  
〈人間力推進プロジェクト〉

# 海士町元気な集落づくり事業

町では集落の社会的・文化的機能を維持向上させて自信と誇りの持てる元気な集落の育成をするために平成15年度から18年度までの全町を対象に集落等の主体的な取り組みを支援する「元気な集落づくり事業」を実施しています。この事業は県と町が基金を造成し、地区も拠出して実施する事業です。

現在、各地区においては「元気な集落」を実現するために、地域住民の暮らしやすい快適な生活環境と地域環境づくりをおこなうため、それぞれの地域課題を話し合いながら、その解決に向けて地域住民が主体となって取り組んでいるところです。この事業には11地区からの申請がありましたが、今回、元気な集落づくりを目指しすでに活動している地域色溢れる5地区の取り組みをご紹介します。

## ◆菱浦地区 く文化の伝承と地域通貨の導入く

菱浦港は隠岐汽船発祥の地であり、民謡キンニヤモニヤ発祥の地でもあります。かつてラフカディオハーン（小泉八雲）がその美しさを絶賛したと伝えられているこの鏡浦は、「夏の盆踊り」や「キンニヤモニヤ祭り」で大変な賑わいを見せています。

また、4年に一度の「えびす祭り」も郷土色豊かな催しが行われることでも知られています。

菱浦地区の主な取り組みは、盆踊り事業等、子どもからお年寄りまでの世代間交流を通して地区の活性化を図ることや海士町の玄関口であることから、地区内を花で彩る住みよい環境づくりの推進、そして、地域通貨（限定した地域内でしか使えないお金）を発行し、地区内での地産地消の促進と地区内消費の拡大などを促し地域経済の活性化へと繋げて行こうとしています。

特に地域通貨については、7月に東京で開催されたシンポジウム「地域通貨で街づくり」の中で菱浦地区の取り組みが紹介され、今後の展開が期待されているところです。

菱浦地区の地域通貨は「HEARN（ハーン）」と名づけました。紙幣のデザインから始まり、流通・運用の仕組みづくり、菱浦の商工関係者への説明会、そして8月21日には、区民説明会を開催し、翌日22日から実際に地域通貨「ハーン」を発行し、地域経済の活性化に向け第一歩を踏み出しました。

この地域通貨「ハーン」は、当面菱浦地区を中心に利用促進を図りますが、のちのちは全町に波及し、将来的には一島一町という地理的特殊性を最大限に活用し外貨獲得の手段として観光客も視野に入れた取り組みが計画されています。島外へのお金の流出を少しでも抑え「潤う」まちづくりを目指すために区民の皆さんの夢は大きく膨らんでいます。



菱浦地区の地域通貨運用に向けての話し合いのひとコマ

## ◆崎地区 く梅の郷 崎村づくりく

かつては、崎村（現在の崎、多井）というひとつの村を構成し島内1、2位を争う雄村でしたが、現在では人口の減少や少子化に歯止めがかからないのが現状です。

そんな中、町の産業施策の中にあつた梅干しづくりとの出会いがあり、今回、梅の郷「崎村づくり」と称し世代を超えた交流の広がりと、田舎のほのぼのとした環境の中に活力がでることを目指しています。

特に梅林づくりについては、整地作業から植樹作業に至るまで、子どもからお年寄りまで参加協力し、地区民が一致団結することができました。その後、料理研究家の中村成子先生のご指導のもと、「海士の塩」を使った梅干しづくりなどを開催し、究極の「梅づくり」「梅干しづくり」をめざし取り組んでいます。

近い将来、崎村発「ブランドの梅干し」をつくり出すことで地区住民の連帯感が一層深まることが期待されます。

何よりも地区の皆さんの元気が一番、この梅づくりを一つのキーワードとして、世代を超えた交流を深め知恵と力を出し魅力ある地域づくりを目指しています。



崎「女性の会」も町おこしの一助にと梅干し作り勉強会に参加。



崎の入り口付近の遊休農地に100本の梅の木を植樹。





お年寄りとの交流でしめ縄作りの指導をする



カブトムシの生体を教える湯本さん

### ◆宇受賀地区 く安心して住める地域づくり

宇受賀地区においても少子高齢化の問題が深刻化になりつつありますが、地区では、将来を見据え地下の活性化のために『宇受賀手づくり福祉会』を立ち上げました。

この福祉会は、平成15年度から20年度までの中期計画を立て、地区内に存在する各種団体（宇受賀ヤッターマン、子ども会、婦人会、健康教室グループ、老人会、営農組合）が相互に連携を持ちながら事業展開をするためのものです。平成15年に、地区の現状を把握するためにアンケート調査を行い、それに基づいて福祉活動計画が立てられました。この計画は『安心して住める地域づくり』を目指し、地域福祉ネットワーク活動を「じげの活性化」ととらえ、地域住民が「じげ」に関心を持ち、区民が「ふれあい、助け合い、ささえ合う宇受賀」を目指して取り組んでいます。

また、運動会や地域で子どもを育むふれあい農園を計画し、農作物の世話、収穫、販売、カブトムシの飼育をする中で、子どもからお年寄りまで世代間交流を深めながら子どもの健全育成を図るなど意欲的に取り組んでいます。これからも粘り強く継続していくことで、住民同士の絆が深まり「住みよい宇受賀」が実現できることが期待されます。

### ◆北分地区 く開かれた地域の創造を

近年地区の高齢化が進行する中、町営住宅の建設により若者の住居者が増えつつあります。地区では、地域住民と住宅に住む人との交流を深めるため、各種諸行事への参加を呼びかけ、「新たな北分の創造・発信」を目指しています。

特に伝統行事の後継者育成の観点から道中神楽、民謡、盆唄、盆踊りなどお年寄りから子ども達へ着実に次の世代へ引き継げるよう、『福祉会』を中心としてその指導をおこなっています。

また、今後は、区民運動会、環境美化運動、郷土料理、しめ縄づくり等を計画しており、親睦と協力関係を深めながら地域の活性化を目指しています。そして、今秋には、町が目指している無農薬・有機栽培の試験栽培を区民でもおこなうよう堆肥づくりや土づくりを計画しており、栽培に関しては来年度から実施する予定となっています。

地元住民の連帯感はもちろんのことUターン者の方々にも「開かれた地域」となり、明るく住みよい地域づくりを求めて只今活動真っ直中です。

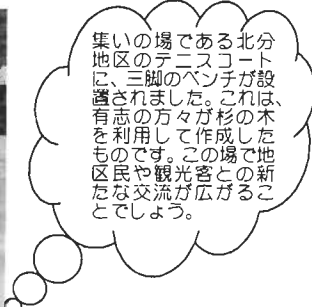


ピンボーリングを楽しむ多井のみなさん

### ◆多井地区 く達者で笑い声の絶えない多井に

町内でも過疎高齢化の顕著な集落ですが、小規模集落であるがゆえに家族的なつながりと穏やかな空気は何物にも代え難い生活空間が醸し出されています。地区民のみなさんの助け合いの精神と信頼関係は厚く、豊かな暮らしを実感できる地域です。年々高齢化は進みますが、なによりも区民のみなさんの健康が一番。『集う』ことによりそこから笑いが生まれ健康増進にもつながります。また、お互いの健康状態の相談場所にも繋がります。このようにみんなが元気でいるために、「笑い声が絶えない多井」をめざし、地区では、レクリエーションスポーツや環境美化活動に勤しんでいます。

特に今年のチャレンジデーをきっかけに、ピンボーリングが盛んになり公民館では、いつでも施設の開放をし、スポーツを通しての憩いの場を提供しています。安全で安心な住みよい元気な集落となり一層の互助の精神が高まるものと期待されます。



北分地区は、木た地新このコチがれしでこのるあスベた。杉作の客がで二のた。タタてこの光が場テのま方してこの客が場の三利の用です。観光が集地区に、さ利の民交なしと、遊有をも区たたと

歴史と文化を結ぶ ～そして交流

京都造形芸術大学スクーリング開催

7月29日から31日まで京都造形芸術大学のスクーリングが開催され、通信教育学部が30名の皆さんが、海士の歴史と文化を学びました。

同大学は海士町保々見ご出身の徳山詳直氏が理事長でもあり、昨年6月帰省時の視察を契機に、当地での開催が実現したものです。

今回参加した受講生は20歳から60歳と幅広く、歴史、文化への関心が高く、有意義なスクーリングだったと感想をいただきましたのでご紹介いたします。



崎郷土史研究会の滝中さんの講義を受ける受講生のみなさん

～受講生からの感想～  
海士町って、あの「さざえカレー」の町だったんだ！

講義の中で、助役さんが町の紹介をされた。役場の職員さんの手づくりビデオに町のぬくもりを感じ、いいところだなあと思った。中でも衝撃的だったのが、さざえカレー。全国の特産品の代表選手として何度もTVで見たことがある。職場への50箱分の送付手配を、早速ホテルの方に依頼した。

行政で働く者の一人として、我がふるさともこうした特産品がほしいとの思いから、観光や特産品を担当する知り合いに隠岐のパンフレットとともに配った。反応は、というのと、「人口2、500人の町で、年間5万食の売り上げはスゴイ！」といった驚きの声しきり。半数以上が、TV番組を通してさざえカレーを知っていた。さてお味は？

カレーは好みがいろいろなよう、中には「もう少しトロミがある方が好き」という人もいたが、絶賛の嵐。

三重県の老舗ホテル「志摩観光ホテル」には、鮑の入った海の幸カレーがある。ちなみに、メニューの中で一番安いのが、一皿4、700円也。お手頃値段のさざえカレーは、将来的にも売れることは間違いないさそう。

資料館館長である隠岐神社の宮司さんや観光ボランティアさんをはじめとする島のみなさん、役場のみなさんの隠岐に対する熱い想いとご厚情により実現したスクーリングであることを、行く先々で強く感じた。聖地として、芸能文化の里として、環境風土の原風景として、地域芸術の発信地として、そしてなにより、人材豊富な元気な地域として、海士町の魅力は尽きない。貴重な経験をさせていただいたお礼の意味からも、県外応援団として、海士町の魅力の広報役を務めたいと思っている。

～事務局 松田氏からの感想～

今回我々一行30名は通信教育部の授業でこの島を訪れました。

授業の担当者である鎌田東二教授は、宗教哲学、日本思想史、民俗学が専門であり、古事記にも出てくるこの隠岐は、授業を行うには格好の舞台となりました。

隠岐神社へは玉串を納めての正式参拝をいたしました。ここでは鎌田先生の石笛、竹笛、ほら貝の演奏も奉納いたしました。鎌田先生は自ら神道ソングライターを名乗り、CDも出し、ライブ活動も行っておられますが、村尾宮司からは「後鳥羽上皇は歌をはじめ文化面について多才な方でしたので、先生の演奏をお喜びでしょう。」とのコメントもいただきました。

今回は青山課長がわざわざ町のバスを出してください、隠岐神社をはじめ、各所を見学しましたが、金光時山頂から臨む景色や、明屋海岸で見た海の美しさは、本当に筆舌に尽くし難いものでした。

夜の特別講義では、澤田助役や崎郷土史研究会の滝中様からもお話しを伺うことができました。そして、この歴史と自然の町が、山内町長を先頭に、さまざまな改革に取り組んでおられることも学びました。

今回は海士町の風土と皆様の優しさにふれた授業でした。海士町と本学との交流が、この授業をきっかけに今後ますます進むことを願っています。

京都造形芸術大学通信教育部 事務局 松田一浩



海士町のまちづくりについて青山課長から説明を受ける様子 後鳥羽上皇を偲んでほら貝の演奏を奉納する鎌田先生

NPO法人 海士人・夏の取り組みから

# 出張ビアガーデン開催！



事前に降った雨も上がり、崎の中良公園での大盛況！

地区で開催し、大変好評であったため、今年も引き続き町内の各地に出張して開催しようと、計画しました。

当日は満点の星空の下、多くの区民や帰省客も加わりたくさんの皆さまにご来場いただき大変な賑わいを見せました。

また、8月7日には、福井地区で

夏真っ盛りの7月30日、崎地区で『出張ビアガーデン』を行いました。

この『出張ビアガーデン』は私たち「海士人」が、海士町の活性化のために自分達に何が出来るとかを考え、「笑顔に溢れる島づくり」を目標に企画・運営にあたっています。昨年、宇受賀地区、御波

も開催し、ここでもあたたかい歓迎を受け、大盛況でした。前日までの準備や、当日のスタッフの手配・段取りなど、かなり手間取った部分があり、大変だった面もありましたが、崎や福井の皆さまのたくさん笑顔と、夜空にこだまする歓声、出張開催への多くの感謝とねぎらいの言葉に、私た

ちも喜んでいただいたことを実感し、開催して本当に良かったと感じました。

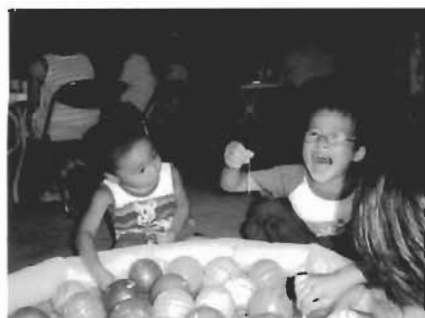
お世話になった崎区と福井区の区長さんをはじめ、区民の皆さま、本当にありがとうございました。

私たち海士人は今後もこれを継続して行おうと考えておりますので、来年もどこかの地区に向いた際には、そこでたくさんの皆さまにお会いできるのを楽しみにしておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(海士人会員一同)



福井公民館前でも大変な賑わい。みんな話しはずみです。



僕たちも楽しいなあ～



汗しながら飲む生ビールは最高！疲れがふっ飛びます。

## 更生保護女性の会から

…募金のお礼…

7月1日から1ヶ月間、全国で「第55回社会を明るくする運動」が展開されました。海士町更生保護女性の会では、この運動の一環として「愛の図書寄贈運動」を行いました。

その趣旨にご賛同下さった多くの方々から、左記のように多額の募金が集まりました。ここに報告に合わせ改めて厚くお礼申し上げます。

募金総額 424,930円  
支出額

・ 県更生保護女性連盟へ 170,000円  
・ 町内小中学校へ (3校へ寄贈) 150,000円

・ 町内保育園(2カ所)へ 60,000円  
・ 更生保護女性の会活動費 44,930円

### 会員募集中！

海士を愛し、交流を深めそして町の活性化を目指して活動展開しています。「海士人」で、ぜひ貴方の力を活かしてみませんか。ご連絡をお待ちします。

★TEL ②-11833

海士人事務所まで

# 議会だより

## 今、抱えている課題

◆総務厚生常任委員会では、  
 隠岐汽船から「フェリーおき」  
 に係る固定資産税相当額の助  
 成についての陳情を継続審議  
 中であります。

◆隠岐広域連合議会では、  
 隠岐病院建設促進特別委員会  
 を設置して病院建設について  
 検討中であり、本町議会より  
 柏原議員が特別委員として参  
 加しています。

◆隠岐交通問題対策協議会では、平成16年12月県議会において野津県議の質問に、知事は「隠岐島民や地元関係町村、船主など関係者の合意づくりが必要である。」と表明し、これを受け、隠岐郡内4町村長・同議会議長・隠岐選出県議・隠岐振興・隠岐汽船・4町村商工会・隠岐観光協会・隠岐

空港整備利用促進協議会・隠岐青年会議所・及び隠岐法人会の代表者を会員とする協議会を平成17年2月26日に発足させ、「隠岐の海上交通のあり方」について次の内容を協議中です。

### ▼協議内容

- ①超高速船に係る本土側寄港地の検討。
- ②島前側寄港地の検討。
- ③超高速船の船種
- ④フェリーを含めたダイヤ等の検討。

### ▼協議結果

寄港地問題に特化し、平成18年度以降の超高速船の運航計画は、島民及び観光客の利便性、隠岐汽船の経営状況を考慮し、次の通りの結果を得た。わかりやすい運行ダイヤの設定、また、運行事業者の経営改善を図るため、利用率の低い加賀港、来居港、菱浦港の一部(昼便)を抜港する。

○以上のような協議を行っているとあります。島民・観光客の利便性の向上を図ることは重要な課題であり、隠岐全体の活性化に欠かすことの出来ないところであり、今後更に寄港地、運行ダイヤ、船種等について協議を重ねることになっていきます。なお、これまで「隠岐汽船だけで決めていたダイヤ」が、このような協議会で検討されることは、隠岐全島にとっておおきな前進と考えられます。



## 真の三位一体の改革実現を！

去る、6月島根県自治体代表者会議(県知事・市長会長・町村会長・県議会議長・市議会議長会長・町村議会議長会長)で、地方財政の自立を求め、次の要望をしています。

### 真の三位一体の改革実現に関する要望

税源移譲に係る国庫補助負担金改革をはじめ、多くの課題が先送りされ、真の地方分権改革を推進するものとはなっていない。

「三位一体の改革」は、地方財政の自立を目指す「地方分権改革」の側面と、効率的で小さな政府を目指す「財政構造改革」の側面という言わば相反する二つの目的を内在しています。一昨年の地方交付税のみの突出した大幅削減のように、国の財政再建ばかりが優先されるようなことがあっては、この改革は、決して成就しません。地方六団体が進める地方分

権改革は、過度に中央に集中する権限・財源を住民に身近な自治体に移し、地域のニーズに応じた、多様で透明性の高い住民サービスを提供できる体制を確立するものです。

このことは、国・地方を適した簡素で効率的な行財政システムの構築にも資する、言わば国民のための行財政改革であり、まさに「分権改革こそが国・地方を通じた財政再建につながる政道」と考えています。

真の三位一体の改革実現に向け、適切に対処され、必要な措置が講じられるよう強く要望いたします。

### 議会日誌

- 6月23日 議会広報委員会
- 6月24日 島前町村組合議会
- 6月28日 (株)ふるさと海士株主会
- 7月2日 新宿日本語学校歓迎会
- 7月4日 新宿日本語学校副校長講演

- 7月5日 民具資料館竣工式
- 7月10日 新宿日本語学校送別会
- 7月11日 隠岐交通問題対策協議会
- 7月12日 島前高校後援会
- 7月13日 島前防犯連絡会議
- 7月17日 明屋海水浴場開き
- 7月19日 例月監査
- 7月21日 海士町農業委員会
- 7月26日 総務厚生常任委員会  
産業建設常任委員会  
全員協議会
- 8月1日 正副議長委員長会
- 8月3日 隠岐広域連合議会運営委員会
- 8月9日 隠岐病院建設促進特別委員会
- 8月12日



海士町民具展示館の全景

- 8月15日 隠岐交通問題対策協議会  
成人式
- 8月18日 全員協議会
- 8月25日 駐在所連絡協議会  
議会広報委員会  
例月監査
- 8月27日 広域連合全員協議会  
タイ国留学生歓迎会  
キンニヤモニヤ祭

### 仁田 收 議員奮闘記

仁田議員は、社会教育委員に議会より選出されています。社会教育事業の一環として、自らアドベンチャーキャンプに参加され、筏作り等の指導に貢献されております。その感想を紹介させていただきます。

#### アドベンチャーキャンプに参加して

8月4日から8月9日まで高石港の倉田海岸において、町内27名、町外2名の子供達に自然体験事業があり、社会教育委員会のスタッフの一員として今年もキャンプに参加しました。

初日から好天気にも恵まれたものの、スタッフは緊張の一日でしたが、子供達の交流の早さに驚きながら安心した初日でありました。

家では何にもした事が無い子供と推察していたが、ところが、各班長の一声で協力、団結して食事作りから後片付けをし、回を重ねるたび

に上手くなり、感心させられました。

メインイベントである、筏づくり、次の日の筏航海と目を輝かせ、真剣に取り組んだ想い出はよい経験になったことでしょう。最終日は、キャンプファイヤーを囲みゲームに興じ、厳かな中にトーチの灯を消したことは生涯忘れることができないと思います。

これら体験を、故郷の大自然の中で経験したことは、将来何かに付け役に立てると信じてやみません。

仁田 收



筏づくりの指導をする議員

### 編集後記

『議会が活性化すれば、町も活性化すること』を議会人としての使命だと肝に銘じて、議員一丸となって一生懸命に試行錯誤の議会活動を実践しております。

我が町を愛し『明るく住みよい町づくり』を念頭に、皆様の英知を拝借しながら町政に反映してまいる所存です。

長引く不況で我慢の連続ではありますが、今暫くの辛抱だと思えます。

編集にあたっての、ご意見ご感想をお寄せいただければ幸いと存じます。

議会広報編集委員

- 花岡 美近
- 柏原 廣行
- 村上 隆



# 教育だより

## アドベンチャーキャンプ

いんあま

### 倉田海岸(東)

5泊6日

8月4日(木)～

9日(火)まで



なげえまでの手作り筏をこぐ様子

アドベンチャーキャンプは、ふるさと教育推進の一大事業として「将来ふるさとを担う人材育成」「心身ともたくましい子どもの育成」を目標としています。

今年度は小学5年生～中学2年生まで29名の参加。大学生

7名がカウンセラーとして、高校生2名がボランティアとして協力してくれました。

今年度は、現地に入るまでにテント設営、かまど・火おこしについてのスキル面の習得、また仲間作りを意識して隠岐総合開発センターで1泊しました。そのかいあってか現地ではテントの張り、かまどもしっかりしたものが出来上がっていたように思います。当初は、交わす言葉も少なかつた子ども達も、活動をとにもするうちに緊張もほぐれ表情が和やかに変わって関わりあつていく様子が見えるようになりました。

「なげえ」までの手作りいかだでの航海では、みんなで力を合わせ、声をかけ合いゴールをめざして頑張る姿は実に感動的でした。そして、最終日のキャンプファイヤーでは、静まり返った倉田海岸に、営火長のトーチから火が移っていく様子は幻想的なものを感じ、

火床やトーチの火を見つめ、心を落ち着けながらこの5日間を振り返るのでした。

大自然の中での小学5年生から大学生までの異年齢集団の生活、人間関係、達成感がこのキャンプには生きびいているように思います。特に学年があがるにつれて自分の参加意義をしっかりと持っており、小学生をまとめていった中学生のがんばりはすばらしいものがありました。

この夏のアドベンチャーキャンプを通して、子ども達の中に何かしらの変容があり、一つの思い出に残ればと思います。

(ふるさと振興係 福島大介)

### 参加者の感想

初めて、キャンプに参加して思ったことは2つあります。1つ目は水を大切に使うことです。水を大切に使うことで食器などを洗ったこととです。2つ目はご飯を作ることです。キャンプの1日目は、何をやるかがはっきり分からなかったけど班長に聞いたたりして、てきぱき動けるようになりました。体調がわるい時ではげましたあつて仕事ができたりして良かったです。

た。いかだの競争では、班で協力して1位を取ることができました。他の班のいかだは、どれも速く進みそうで丈夫ないかだに見えませんでした。サバイバル料理でサザエの炊き込みご飯とアワビの刺身とキャベツと玉ねぎのみそいためを作りました。どれもおいしかったです。

キャンプファイヤーではわいわいさわいだり、静かに火を見つめたりして心が落ち着きました。そして夏休みの思い出がまた1つ増えました。とてもおもしろかったです。



### 〈キャンプ参加者〉

- 中川貴史、宮下舞、大脇政人、藤田理子、田口開斗、渡辺涼太(知夫)、渡辺拓磨、高橋政成、山根明奈、千田彩夏、中川慎哉、直塚豪気、尾嶋美咲、川本貴保、杵築晴菜、森龍、熊本大樹、吉元翔汰、上田千晴、尾嶋祥一、亀原矢喜、田口啓、橋詰伸太郎(浦郷)
- 杵築昇吾、上野綾華、田口淳、佐々美咲、池田翼、青木拓也

# 真夏の成人式

8月15日、恒例の成人式が行われました。今年の新成人は34名、この内町内在住者は2名です。隠岐神社で奉告祈願祭と記念撮影を行った後、隠岐開発総合センターでの式

典が行われました。新成人を代表して番家啓君が「一人前の社会人として責任のある生き方をしていかなければ」と誓いの言葉を述べました。式典終了後は、マリノポートホテルで祝賀会を行い、近況報告や懐かしい思い出話を語り明かしました。



隠岐神社拝殿前

## 夏休みの遊びの広場

近年、核家族化また共働き家庭が多い中、長期休暇における学童保育の必要性が訴えられています。夏休みにいろいろな体験をさせたい、規則正しい生活をさせたいと思っても昼間は仕事に出かけるため、現実には子どもだけで過ごす毎日。テレビゲーム漬けで目や姿勢が悪くなったり、生活リズムが崩れてしまいがちです。

また、低学年の子どもだけを残して家を空けることへの不安もあります。こうした親の不安を解消し、地域みんなで夏休み期間中の子どもたちを見守り、子どもたちが健康で有意義な夏休みを過ごすことができるよう中央公民館では夏休みの学童保育「夏休み遊びの広場」を今年度初めて行いました。

期間は、夏休みが始まった7月21日～8月5日までの12日間は一日、8月8日～12日



深谷さんから昆虫採集や自然観察について指導を受ける。

までの5日間は半日の日程で行いました。

一日の過ごし方として、朝、1時間の学習、工作、昆虫採集、自然観察、海遊びなどの体験活動を行い、昼食は、週三日はお弁当を持参、後の二日はクッキングの日として、簡単なお昼ご飯をみんなで作って食べました。また、共同作業所「さくらの家」や特別養護老人ホーム「諏訪苑」のグループホームとの交流を行いました。

参加者14名のほとんどが低学年でしたが、規則正しい生活が身に付く、小学校一年生ができるようになる、ということも一つのねらいとして取組



「さくらの家」の人たちとはがきづくりに取り組む

みましたので、お盆を挟み後は、学んだことがどれくらい身に付いたかということも、家庭で親子共に復習していただきました。また、夏休みに田舎へ帰省される出郷者の方々のお子さんやお孫さんの参加募集をしたところ、大阪から1名の子どもの参加がありました。海士の子どもたちにとっても交流できる機会であり、また、参加された子どもたちが湧いたのではないでしょうか。

(中央公民館)

# 隠岐島前高校だより

## 島前高生の熱い夏～進路実現に向けて

### 貴重な経験をした夏期補習!

1学期終業式が終わり夏休みに入った7月21日から夏期補習が開始されました。1・2年生は午前中の3時間、3年生は選択科目により異なりますが、午後7時目まで補習授業に取り組みました。昨年にも増して暑かった今年の夏休み、1時間目から汗だくになりながら、熱心に取り組みました。厳しさを増す進学・就職状況を反映して、進路選択を目前にした3年生はもちろんのこと、1・2年生も真剣な表情で12日間の補習を乗り切りました。



### 進学説明会

6月22日、進学説明会を開催しました。当日は大盛況で、延べ参加生徒数は1年生から3年生まで50名以上を数えました。ある参加生徒は、「私には行きたい学校があり、実際に話を聞いてみるととても良いところで、そこへの進学を決定した。」と述べていました。今後ともこのような、生徒皆が進路を決定する上で有意義な情報を提供してまいります。

(進路指導部：臼井良介)



### 進路保護者説明会

7月10日本校会議室を会場として、進路保護者説明会を行いました。今年度は、第1部・進路研修会、第2部・進路講演会、第3部・就職説明会の3部構成で展開致しました。

最近の雇用情勢を見ると、若年層においての未就職や就職後の早期離職等の憂慮すべき問題が生じています。そこで、「進路問題における親の役割」等について幅広い角度から保護者の皆さんに考えていただくため、第2部では佐々木満里子先生(ふるさとしまね定住財団 ジョブカフェしまね)をお迎えしました。

「とてもいいお話を聞かせていただき、ありがとうございます。この講演は、保護者にも大切ですが、今、これから現実を見ていく生徒たち(特に3年生)にも聞かせたいと思いました。」

(参加保護者の感想より)

## 隠岐島前高等学校創立50周年記念式典

昭和30年、本校の前身であります島根県立隠岐高等学校島前分校が旧菱浦小学校を校舎として開校しました。昭和40年、「島根県立隠岐島前高等学校」として独立し、本年開校50周年を迎えることとなりました。平成14年度より様々な記念事業を継続して行ってきましたが、この度その集大成として創立50周年記念式典を開催する運びとなりました。保護者・地域の皆様のご来校をお待ちしております。

### \*当日日程

開催日 9月23日(金)

式場 隠岐島前高等学校 体育館

内容 13:00～13:40 記念式典

13:40～14:40 アトラクション

(地元の方々による昔ながらの郷土民謡)



# 稿投 世代間交流を通して 地区の発展と「自立」の実現!

〜地区に想うこと〜

東地区の16年度は毎月の様に老人の死があり嫌な日が続き年末には老人会も数人となり少子高齢化時代とはいえない一年で終わりました。

明けて正月酉年にちなんで良い年であればと望んでいましたところ期待通り産業では、

しいだけ栽培を「元氣な集落づくり事業」で取り組む予定や、また、福祉面では、廃屋利用の計画があり、これに併せたかの様に住宅団地の建設この夏には4年に一度の東神社の大祭等々。

今年の大祭は、区長さんの日夜かけての奉仕が実り、海士中、海士小の生徒たちも神楽同好会に加わり、多数の観客の中、古式豊かな祭に併せて子ども神楽も盛大に行われ、神事が賑やかに成功したこと社会学習の成果はさることながら老若男女の地域が一体となり古き良き伝統文化のものと一致団結地域の活性化に寄

与したことは、誠に意義深いものがあると思います。

これこそ酉年にあやかっただけではないか、これをバネに、ますますの区民の発展を祈り地下での活性化を図りたいものであります。

東 亀田桃一

〜み学て中ひ  
技を小っはた  
るいのか子じす  
す私舞向獅演で  
承後にのがマ  
伝央とと側生コ  
中ご生右学と



## 外国人の新鮮な目で海士を見て〜 フレッシュ・アイズ・オン・あま ヒュー・プリステン先生の Vol.1



### 新しい英語指導助手 A.L.T着任!

8月からデリックベグリー先生に代わり新しくヒュープリステン先生が着任しました。このコーナーは引き続き「外国人の新鮮な目で海士を見て」をテーマにその意見・感想を述べていただきます。まずは、第1号をお届けします。

※ご本人が日本語で書いたのを、そのまま載せています。こんにちは〜 オーストラリアから来たヒュー・プリステンと申します。23歳です。デリック先生のあとA.L.T中学校英語先生です。僕の興味は、陶芸をやったり 音楽(ジャズやヒップホップ)を聞いたり 野球をやったりしています。日本のことも、僕の興味があります。例えば、日本語や文化や陶芸がおもしろいだと思います。僕は日本語がペラペラになるのが夢です。オーストラリアのスウィンバンという大学で海外ビジネス(ビジネス)と日本語を勉強していました。大学中の三年生には大阪の関西外国語大学で留学生していました。十ヶ月間に日本語や日本の文化や海外ビジネス(ビジネス)を習いました。とても楽しかったです。

その間に陶芸を見つけました。大学の陶芸スタジオで猪股芳夫先生と毎日ぐらい陶芸を練習してもらいました。オーストラリアに帰っても陶芸をやって続けました。日本の作り方は興味になっていきます。備前焼き物とはぎ焼き物が大好きなんです。去年、卒業して後、日本に来る前に陶芸の粘土を作る会社にしゅうしよくできました。僕はA.L.Tの仕事申し込んで、「田舎か郊外か都会か」という質問で絶対「田舎」を答えました。そのあと、海士町に住むこと わかって来ましたとき とてもうれしかったです。ここに着いても海士町が好きになります。何時でも、僕に質問があったら、聞いてください。それも、「ヒュー」で呼んでください。よろしく願いいたします。

Hugh Pysten  
ヒュー・プリステン  
海士町中学校先生(A.L.T)

★地域のみなさんヒュー先生は、北分の教員住宅に住んでいます。どこかで出会った時には、気軽に声をかけてあげてください。

# 5年に一度の国勢調査

調査票には私たちの未来が  
つまっています！



# 平成 17 年国勢調査

## 平成17年10月1日

### ～調査についてのお知らせ～

#### ▼国勢調査の概要

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策の基礎資料を得る目的として実施するもので、国の最も基本的な統計調査として大正9年以来5年ごとに実施しており今回の調査は18回目に当たります。

#### ▼調査の期日

平成17年10月1日午前零時現在全国一斉に行います。

#### ▼調査の対象は？

国勢調査では、住民票の届出に関係なく平成17年10月1日現在、普段住んでいる人(又は普段住んでいる人とみなされている人)すべてを住んでいる場所で世帯ごとに調査をします。外国人も調査の対象となります。

#### ▼調査の内容はどんなもの？

平成17年国勢調査は17項目について調べます。

#### 【世帯員に関する事項】

氏名、男女別、出生の年月、世帯主との続柄、配偶の関係、国籍、就業状態、就業時間、

#### 所属の事業所の名称および事業の種類、仕事の種類、従業上の地位、従業地又は通学地

#### 【世帯に関する事項】

世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住宅の床面積、住宅の建て方

#### ▼調査の内容は守られます。

9月下旬に調査員が各世帯にお伺いし、調査票をお配りします。調査票が届いたら「調査票の記入の仕方」をよく読んで、住んでいる人についておれなく記入して下さい。

#### Q&Aでお答えします！

#### Q. 調査員はどんな人？

A. 調査票を配布・回収する国勢調査員は、市区町村長の推薦によって総務大臣が任命した非常勤の国家公務員です。疑問があればお気軽に調査員にお尋ね下さい。

#### Q. どうしても答えなければいけないの？

A. 調査票が提出されなかったり正しい申告がされなかったりすると誤った統計になってしまうため「統計法」という法律で申告義務が規定されています。

国勢調査に参加することは、私たちの義務の一つなのです。

#### Q. 個人情報を守られるの？

A. 調査情報を他人に漏らしたり統計の目的以外に利用したりすることは法律で固く禁じられています。調査票は厳重に保管され、書かれた内容が外部に漏れることはありません。ご安心下さい。

#### Q. どんなことに使われるの？

A. 議員定数や地方交付金を決めたり、都市計画や社会福祉施策、経済計画、防災計画などを立てたりするときの基礎資料として活用されます。将来人口の予測や人口分析の研究などにも調査結果が使われます。

#### ▼調査票はどのように提出するの？

国勢調査員が皆さんの自宅へ調査票を受け取りに伺いますので、国勢調査員にお渡し下さい。

#### ▼平成17年国勢調査の結果はいつ頃公表されるのですか？

平成17年12月下旬に、速報値として、市区町村別男女別人口及び世帯数を公表。

また、平成18年6月頃よりすべての調査事項の集計が完了した県から順次公表し、10月までにすべての都道府県(市区町村)結果及び全国値を公表します。

☆皆さま調査のご協力をよろしくお願い致します。



平成17年6月改正

# 人と動物のより良い関係を目指して。～動物愛護管理法改正～

近年、ペットは心豊かな生活に欠かせないものになってきました。しかし、残念なことに、一部では虐待事件や遺棄事件が見受けられます。また、マナーの悪い飼い主による、鳴き声・臭い・トイレなどの迷惑問題も発生しています。

このような状況を踏まえて、動物愛護及び迷惑防止等のより一層の推進を図るために、平成17年6月、動物愛護管理法が改正されました。

命の暖かさ  
優しさを

## 動物愛護管理法の 基本原則は次のとおりです。

- ①すべての人が、「動物は命あるもの」であることを認識し、動物を決して虐待しないこと。
- ②人間と動物が共に生きていける社会を目指し、動物の習性をよく知ったうえで適正に取り扱うこと。

★犬や猫など愛護動物をみだりに殺したり（1年以下の懲役又は100万円以下の罰金）、虐待する（50万円以下の罰金）のは、絶対止めましょう。

★「動物を過保護にしている。」とか、「最近はやかましくなった。」という考え方に陥ることなく、あなたの記憶の中にある「命あるものの暖かい感触と生き物に対する優しさ」を今一度思い出してください。

愛情はたっぷり  
責任はしっかりと

飼い主は、動物の種類や習性に応じて、動物の健康と安全を確保するように努め、動物が人の生命等に害を加えない、迷惑を及ぼすことのないように努めなければなりません。

また、みだりに繁殖することを防止するために不妊去勢手術を行うこと、動物による感染症の予防のために必要な注意を払うこと、動物が自分の所有であることを明らかにするための措置を講ずること等に努めなければなりません。

特に、「生まれてきた子猫などを処分するのはかわいそうだから」と、他人の家の軒先や町内の他の地区に置き去りにするなど、動物を遺棄する（捨てる）行為は、かえって猫を不幸にすることが多く、動物愛護管理法により50万円以下の罰金に処せられます。また、猫は自然に任せて放置していると、ねずみ算式に

数が増えていきます。不妊去勢手術等の対策は飼い主の責任です。

## 動物を傷つけずに 撃退しましょう

近所のペットで迷惑を受けている方のために、その動物本来の習性を利用することで、傷つけないで遠ざける方法が色々と考えられています。

動物のいたずら等で困っている方は、一度、役場生活環境課環境係（TEL②-1826）まで相談してください。



## お知らせ

行政相談週間

毎日の暮らしの中でお悩みはありませんか？  
道路・農地・登記・福祉  
など

行政相談制度は、国の役所の仕事等について、苦情や要望を受け付け、公正・中立な立場から必要なあつせんを行い、その解決を促進するとともに、その利用を促進するため、毎年10月に「行政相談週間」を設けています。今年の行政相談週間は10月17日～23日です。この週間に行政相談委員の若林宣男さんが次のとおり相談所を開設します。

お気軽にお出かけ下さい。  
▼期 日  
10月18日（火）  
▼時 間  
午前9時～12時まで  
▼場 所  
隠岐開発総合センター

なお、相談は無料で秘密は固く守られます。

# ～ふるさとに思いを寄せて～

ふるさとを離れて数十年、都会で生活していてもふるさとへのなつかしさはいつの日も忘れられない・・・。

このコーナーは、出郷者の皆様から寄せられた熱い思いをお届けするコーナーです。係では皆様からのお便りをいつでもお待ちしております。

今回は、海士中第16期生である大阪府堺市の松野俊夫さんからのお便りをご紹介します。

お問い合わせ先：総務課広報係

く 数人乗りの小さな連絡船く  
 潮の香をかきながら大きな魚の飛び跳ねる音  
 朝の日差しさしの中で母の布団干し、傍らで近所の子ども達のまりつき、顔を見合わせあふれる笑顔  
 車の音もない静かなひととき、めったに本土へ渡らぬ孤島の生活。

少年時代を過ごした故郷海士のなつかしい思い出である。日本海の小さな島でも、私にとって人生の健康を保ってくれる大切な島である。

ふるさとの『海』ありがとう！

大阪府堺市 松野俊夫



## 合格おめでとう

第137回商工会珠算検定合格

(6/19実施)

2級 村上 千仁(福井)

4級 渡辺 健吾(福井)

5級 宇野 由希(北分)

波多 綾華(東)

波多 綾華(東)

6級 松田 直也(宇受賀)

第235回全国珠算学校連盟

珠算検定合格者

(7/17実施)

2級 山崎 理沙(菱浦)

3級 佐藤真理愛(東)

青山 達哉(菱浦)

4級 宇野 綾華(北分)

中村 優花(中里)

8級 高橋 芽生(宇受賀)

第110回全国珠算学校連盟

暗算段位検定合格者

(7/17実施)

初段 平田 拓希(北分)



全珠学連暗算 初段の平田くん

第191回全国珠算学校連盟

暗算検定合格者

3級 山戸 彪雅(豊田)

4級 柏原 光(宇受賀)

宇野 誓華(北分)

宇野 由希(北分)

子隅菜々美(福井)

5級 波多 綾香(東)

波多 綾香(東)

6級 松田 直也(宇受賀)

## 秋の全国交通安全運動

期間：9月21日～30日

交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、町民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

▼今年度の重点目標

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 夕暮れ時の歩行中と自転車常用中の交通事故防止
- ③ シートベルトとチャイルドシート正しい着用徹底
- ④ 中央線はみ出し交通事故防止

## ご存じですか？ 障害のある方や母子家庭等への各種手当について

特別障害者手当・障害児福祉手当・特別児童扶養手当（施設入所の場合は対象外です。）

### ◆特別児童扶養手当

対 象：20歳未満で身体または精神障害のある児童を監護する父母等に支給。

支給額：（月額）1級 50,900円 2級 33,900円

### ◆障害児福祉手当

対 象：20歳未満で重度の障害があるため、日常生活の介護を必要とする方に支給。

支給額：（月額）14,430円

### ◆特別障害者手当

対 象：20歳以上で著しく重度の障害があるため、日常生活で常時特別の介護を必要とする方。

支給額：（月額）26,520円

### ◆児童扶養手当

対 象：父母の離婚などにより、父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭などに支給。（18歳に達する年度の末日まで支給。）

支給額（全部支給）1人：41,880円 2人：46,880円

（一部支給）1人：41,870円～9,880円

2人：46,870円～14,880円

\*以下児童が増えるごとにそれぞれ3,000円増額します。

\*いずれの手当も所得制限があります。

\*一部支給の場合は、所得額や扶養親族等の人数によって支給額が異なります。

●詳しくは健康福祉課福祉係（電話②-1823）までお問い合わせ下さい。

## 平成17年度 海士町地域省エネルギービジョン策定等事業 ～環境にやさしい島（町）をめざして～

海士町では、昨年度の地域新エネルギービジョンに引き続き今年度は地域省エネルギービジョンを策定することといたしました。

現在、世界中で地球環境問題、エネルギー問題という大きな問題を抱えています。

もちろん海士町でも避けて通れない問題です。地域省エネルギービジョンを策定することにより、町が一体となって省エネルギーを推進し、確実な環境貢献を図り環境にやさしい島（町）にイメージを定着させ、また、町民の環境意識の向上、子ども達の環境教育への寄与を図り、さらに、産業振興や地域振興につなげていきたいと考えています。

つきましては、役場内検討委員会と海士町地域省エネルギービジョン策定委員会を立上げ町民・事業者・行政が一体となって取り組んでいきたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。 産業創出課産業創出係

## 終戦当時の引揚者の方々へ

～通貨・証券などをお返ししています～

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

◆ 終戦後、外地から引揚げたこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券など。

◆ 外地の集結地において総領事館、日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち日本に返還されたもの。

返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心あたりの方は、上陸港を所轄する税関支署へお問い合わせ下さい。

境税関支署

〒684-0034 境港市昭和町9番地 境港港湾合同庁舎内

TEL (0859)-42-2228 FAX (0859)-42-3893

## 住民異動届け時には本人確認を…

平成17年10月1日より、役場の窓口で転入、転出等の手続きをする際には、本人である事の確認を行います。これは第三者が本人になりすまして虚偽の住民異動届けを行う事例が全国で発生していることを踏まえ、予防の観点から全国的に行うものです。

本人確認の方法として、届出人の運転免許証やパスポート、資格証明書等本人の写真が貼付されたものを提示していただきます。 生活環境課住民係

## ご存じですか！ 検察審査会

交通事故、詐欺、脅しなどの被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの方は検察審査会にご相談下さい。相談および申し立てについての費用は一切無料で、秘密は堅く守られます。

検察審査会では、選挙権を有する一般国民の中から「くじ」で選ばれた11人の審査員が、検察官が事件を起訴しなかったことの善し悪しを審査します。

●お問い合わせ先

隠岐の島町港町指向5-1

松江地方裁判所西郷支部内 西郷検察審査会事務局 (TEL 08512-2-0005)

にお尋ね下さい。

## 島根労働局からのお知らせ

**石綿を取扱う作業等に従事していた方は健康診断を受けましょう！**

## 石綿障害予防規則の概要

石綿は、1970年から1990年にかけて大量に輸入されその多くは建材として建築物に使用されましたが、今後これらの建築物の老朽化による解体工事の増加に伴い解体工事従事労働者の石綿による健康障害の発生が懸念されます。

石綿含有製品のうち建材、摩擦材及び接着剤については、既に、製造、使用等が禁止されていますが、さらに、関係労働者の健康障害防止対策の充実を図るため、石綿障害予防規則を制定し、平成17年7月1日より施行することとしました。

石綿による健康被害が多発しており、今後も増加することが懸念されています。

下記にリストアップされている作業に従事していた方は、石綿にばく露している可能性がありますので、最寄りの医療機関にご相談の上、胸部レントゲン検査等による健康診断を受診するようにして下さい。(受診の際、医師に自分の過去に石綿に係る作業を行っていた旨お伝えください。)

- ① 石綿鉱山またはその付属施設において行う石綿を含有する鉱石又は岩石の採掘。搬出又は粉碎その他石綿の精製に関連する作業
- ② 倉庫内等における石綿原料等の袋詰め又は運搬作業
- ③ 以下の石綿製品の製造工程における作業
  - ・ 石綿糸、石綿布等の石綿紡績製品
  - ・ 石綿セメント又はこれを原料として製造される石綿スレート、石綿高圧管、石綿円筒等のセメント製品
  - ・ ボイラーの破覆、船舶用隔壁のライニング、内燃機関のジョイントシーリング、ガスケット(パッキング)等に用いられている耐熱性石綿製品
  - ・ 自動車、捲揚機等のブレーキライニング等の耐摩耗性石綿製品
  - ・ 電気絶縁性、保温性、耐酸性等の性質を有する石綿紙、石綿フェルト等の石綿製品(電線絶縁紙、保温材、耐酸建材等に用いられている。)又は電解隔膜、タイル、プラスター等の充填剤、塗料等の石綿を含有する製品
- ④ 石綿の吹き付け作業
- ⑤ 耐熱性の石綿製品を用いて行う断熱若しくは保温のための破覆又はその補修作業
- ⑥ 石綿製品の切断等の加工作業
- ⑦ 石綿製品が破覆材又は建材として用いられている建物、その付属施設等の補修又は解体作業
- ⑧ 石綿製品が用いられている船舶又は車両の補修又は解体作業
- ⑨ 石綿を不純物として含有鉱物(タルク(滑石)、バーミキュライト(蛭石)繊維状プルサイト(水滑石)等の取扱い作業
- ⑩ 上記①～⑨の石綿又は石綿製品を直接取扱う作業の周辺等において、間接的なばく露を受ける可能性のある作業

**たばこを吸わないようにしましょう**

石綿を取扱う作業等に従事していた方は、発ガンリスクを高めることになるので、たばこは吸わないようにしましょう！喫煙した場合、肺ガンによって死亡するリスクが50倍以上になるといわれています。

**健康管理手帳制度や労災補償制度があります**

健康診断の結果、胸部レントゲン検査で一定の症状がある場合等は、最寄りの都道府県労働局に申請すれば、健康管理手帳が交付され、無料で定期的に健康診断を受けることができます。

また、石綿肺、肺ガン、中皮腫等を発症した場合には、それが、石綿にばく露したことが原因であると認められれば、労災補償を受けることができます。

★・☆・★・☆・以下の相談機関にご相談下さい。★・☆・★・☆

- ◆ 健康手帳、健康診断、労災補償についてのお問い合わせは・・・  
島根労働局 (0852-20-7009)  
松江労働基準監督署 (0852-31-1166)
- ◆ 石綿による健康への影響や治療方法についてのご相談は・・・  
島根産業保健推進センター (0852-59-5801)

# ★日本で最大の感染症「結核」★ 結核は昔の病気ではありません！！

結核予防週間（9月24日～9月30日）「結核の予防、みんなの意識改革から！」

結核は、人から人へとうつる「感染症」です。何より怖いのは、自分が結核だと気づかず周りの人々にうつしてしまうことです。今でも全国で1日に86人の新しい患者が発生し、6人が命を落としています。

結核って  
どんな病気？

### <初期症状>

最初のうちはかぜと同じような症状。

2週間以上微熱や咳、痰が続く時は危険信号。

症状が進むと全身倦怠感（だるさ）、寝汗、胸の痛み、血痰や咯血することもあります。

### <どうやって感染するの？>

結核患者が咳やくしゃみをした時のしぶきの中にある結核菌\*を吸い込んで感染します。

そのため、結核患者の身近な人（家族や親しい友人）ほど感染しやすいのです。  
（※結核菌は紫外線に弱く、直射日光下で20分～30分で死滅します。）

### <どんな人が結核になりやすいの？>

免疫力が低下している場合に、発症しやすくなっています。

例) ●糖尿病の人 ●胃潰瘍・胃を切除した人 ●ステロイド治療中の人  
●人口透析中の人等

最近の特徴

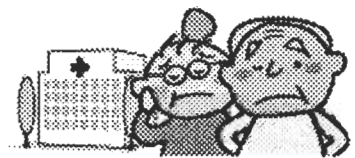
- ①結核とわかったときには、排菌しているほどの重症患者が出現しています。
- ②20歳～30歳の患者が増えたため、感染の機会が広がっています。
- ③60歳以上の患者が58%と過半数を占め、年々増加傾向にあります。

（結核が流行した世代の方の肺には結核菌が眠ることが多く、免疫力が低下した高齢者に発症しやすくなっています。）

島前地区に多い傾向

## 結核に負けないための 5カ条

**気になる症状があれば  
早期受診を**



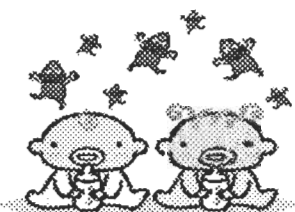
**年1回結核検診を  
受けましょう**

せき、たん、発熱が2週間以上続く時は、早めに医療機関を受診しましょう

**高齢者の症状には  
早期受診を**

早い段階でわかれば、入院なくても治療ができます

歳をとると免疫力が低下します。眠っていた結核菌も目を覚ましやすくなります



**乳幼児には早期に  
BCGの接種を**

抵抗力のない赤ちゃんは命にかかわる重症の結核を発症しやすくなっています

**発病させない体カ  
つ  
くいを**

睡眠はしっかり！バランスのとれた栄養摂取！適度な運動習慣！心身のリフレッシュ！に心がけましょう

<お問い合わせ先> 隠岐保健所島前保健環境グループ 電話：7-8121 (担当：榊原)

**墓地を新設、変更、廃止する場合は、許可が必ずあります！**

墓地を新たに設置したり、既存墓地の区域を拡張・縮小・廃止する場合は、「墓地、埋葬等に関する法律」に基づく許可を受ける必要があります。

許可を受けられないまま墓地の新設、区域の変更等をされますと、お骨を埋葬できないばかりか、罰則を科せられる場合があります。墓地の建立や移転などを予定している方は、事前に相談のうえ、必要な手続きを行ってください。

特に、改葬（現在あるお墓を別の場所に移すこと）を行う時には、新墓地の受入証明書又は権利証（写しでも可）と印鑑が必要になります。

▼休日には取り扱いをしておりますので、お早めに役場窓口へご相談下さい。

◇お問い合わせ  
生活環境課住民係  
(TEL 08514②1821)

◆職員人事異動  
中山 晃(建設課)

海士町町勢伸展のために  
ご尽力いただき有難うございました。

**改葬時、火葬場をご利用の際には早めに申し込みを...**

改葬時、土葬骨を焼く場合には、火葬場の申し込みが必要となります。お墓の改葬をされる方は、前もって中の島総合クリーンセンターへ、お申し込み下さい。

(TEL 08514②1196)

**窓の籍戸**



9/31届出分

(太字は地区在住者)

か	す
に	こ
	や



- 吉元 颯汰くん 菱浦 真二
- 中尾 朔良くん 宇受賀 佳弘
- 柏谷 一颯くん 菱浦 基樹
- 松尾 瑞紀くん 西 環
- 瀬戸 研愛くん 御波 啓克

せ	し
に	あ
	わ



- 谷口 智範さん
- 平田久美子さん 北分
- 三浦 幸夫さん 東
- 白根 深雪さん

**あま 海士っこ**



あんじゅ 熊本 愛樹ちゃん  
(1歳6ヶ月)

平成16年3月3日生まれ  
直宏さん・恵理さんのお子さん  
(中里在住)

笑顔いっぱい、元気いっぱいの毎日。お兄ちゃん大好きなあんじゅです。よろしくお祈りします！

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介します。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先: 総務課広報係  
TEL 2-0115

か	や
に	す
	ら



- (加本 泰之さん 西)
- (上田 尚子さん 西)
- (今 隼人さん 北分)
- (山斗理恵子さん 北分)
- (孤島 雄司さん 御波)
- (神田麻衣香さん 中里)
- (増本 卓也さん 中里)
- (宮崎 由衣さん 中里)
- (西澤 喜政さん 保々見)
- (上田有希子さん 保々見)
- (大江 徹さん 宇受賀)
- (石倉 由美さん 東在住)
- (城之内直也さん 東在住)
- (梅田 里美さん 東在住)
- (上田 良美さん 保々見 84歳)
- (杵築 玉子さん 崎 87歳)
- (三島キクノさん 宇受賀 89歳)
- (扇谷 恒子さん 中里 73歳)
- (安田 クニさん 西 86歳)

- 寺下ヨシノさん 菱浦 88歳
- 山下喜美夫さん 豊田 77歳
- 吉田 優さん 崎 66歳
- 葛谷 庄吉さん 中里 72歳
- 新谷 悦子さん 多井 90歳
- 楠見 正衛さん 崎 82歳
- 澤田 齊守さん 豊田 97歳

**紙上からお礼**

- 香典返し
- 金一封 寺下 淳子様(菱浦)
- 金一封 宇野 郷史様(菱浦)
- 金一封 三島 松男様(宇受賀)
- 金一封 扇谷 忠様(中里)
- 金一封 上田 豊様(保々見)
- 金一封 藤井 幹子様(崎)
- 金一封 楠見 節雄様(崎)
- 見舞い返し
- 金一封 福山 弘様(菱浦)
- 金一封 上田 順彦様(北分)
- 金一封 瀬戸 進様(御波)
- 金一封 波多 ユキ様(東)
- 金一封 鹿志和英之様(北分)

**住むさんのコーナー**

届期が近づいたり、遅くなったり、工事や作業で汚れたり、みんなの通すいつもきれいで、気持ちよく通れるようにしましょう。  
車が汚れて、狭くなったら、車列をしましょう。

野原八力君  
民事訴訟裁判所未納通知書  
組合消費財未納分納通知書  
電子消費財未納利用料請求書  
などを来たに要する八力君が送られてきます。  
「来たな」と思ったらすくお知らせ下さい。

- 寄付金
- 金一封 齊藤チトリ様(菱浦)
- 金一封 澤田 廣富様(豊田)
- (海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム諏訪苑より)
- 広報郵送料
- 金一封 井藤 淳三様(広島県)
- 金一封 豊田 啓乃様(大阪府)
- 金一封 奈賀 虎浩様(神戸市)
- 金一封 久島 敏子様(愛知県)
- 金一封 木綿 圭一様(茨木市)
- 金一封 小谷 哲子様(神奈川県)
- 金一封 八旗 篤様(四条畷市)
- 金一封 山斗 隼人様(庄原市)
- 金一封 尾崎 寿子様(大東市)
- 金一封 中山 毅様(奈良県)
- 金一封 大原 竜信様(姫路市)
- 金一封 小角 瑞枝様(大阪府)
- 金一封 播磨 節子様(大阪府)
- 金一封 澤田 忠義様(埼玉県)
- 金一封 田中 静枝様(堺市)
- 金一封 古谷 修一様(東京都)
- 金一封 石倉 良和様(東京都)
- 金一封 浜見紀美子様(西宮市)